



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 山田 圭祐 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	1,573	△4.9	62	△77.2	60	△77.5	11	△93.6
2019年9月期第1四半期	1,654	70.0	274	—	270	—	175	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △13百万円 (—%) 2019年9月期第1四半期 239百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	1.10	1.09
2019年9月期第1四半期	17.92	16.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	5,517	3,235	58.4
2019年9月期	5,515	3,222	58.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 3,220百万円 2019年9月期 3,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,155	22.9	816	20.0	814	21.1	430	31.4	41.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年9月期1Q	10,469,400株	2019年9月期	10,469,400株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	216,851株	2019年9月期	216,851株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年9月期1Q	10,252,549株	2019年9月期1Q	9,785,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、在庫に悩む企業の「主治医」として流通を最適化すべく、AIと膨大な蓄積データを用いて在庫価値を可視化・最適化する在庫価値ソリューション事業、滞留商品の流通を支援する商品流通プラットフォーム事業及び、事業投資活動等を行うインキュベーション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行ってまいりました。EC関連企業を子会社化したことにより、相場データのみならず自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス市場への本格展開も果たしてまいりました。

このような中、商品在庫廃棄年間22兆円の巨大市場の攻略に向け、当連結会計年度より在庫価値ソリューション事業の本格的展開・加速に向け、一層の事業推進を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,573,243千円(前年同四半期比4.9%減)、営業利益は62,464千円(前年同四半期比77.2%減)、経常利益は60,874千円(前年同四半期比77.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,272千円(前年同四半期比93.6%減)となりました。

また、在庫に悩む企業の「主治医」として流通の最適化を行なう在庫価値ソリューションの提供及び流通の最適化を目的とした組織運営・経営管理体制の構築に伴いまして、2020年9月期より報告セグメントをこれまでの「メディア事業」「マーケットプレイス事業」「ソリューション事業」「インキュベーション事業」の4セグメントから、「在庫価値ソリューション事業」「商品流通プラットフォーム事業」「インキュベーション事業」の3セグメントへ変更いたしました。

そのため、前年同四半期比については、前第1四半期連結累計期間の数値を報告セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(在庫価値ソリューション事業)

当セグメントは、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを主として提供する当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。

当社が保有する流通相場データを活用した「オークファンプロPlus」や、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス「タテンポガイドNEXT」等においては引き続き在庫価値の可視化・最適化ソリューションとして拡販を継続した一方で、事業投資を継続的に実施している影響により、売上高515,972千円(前年同期比7.7%増)、営業利益117,049千円(前年同期比14.0%減)となりました。

(商品流通プラットフォーム事業)

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、複数のマーケットプレイスの運営や流通を加速させる人材育成スクールの運営等を実施しております。

法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」、国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」、社会貢献型サンプリングサービス「Otameshi」及びオークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」それぞれにおいて積極的な投資・成長に向けた施策の実行を継続しております。BtoC向けECサイト「ネットプライス」においては事業内容の見直しを実施することにより一時的なコスト増加となりました。

また、新サービス「horidashi powered by netprice」のリリースに向けた準備を行ってまいりました。(2020年1月30日ローンチ済)

これらの結果、売上高1,061,610千円(前年同期比9.0%増)、営業利益32,121千円(前年同期比56.7%減)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施した結果、売上高26,515千円(前年同期比86.3%減)、営業利益2,965千円(前年同期比98.2%減)となりました。

※ 出所：平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,517,526千円(前連結会計年度末は5,515,508千円)となりました。

流動資産は、4,099,495千円(前連結会計年度末は4,042,482千円)となりました。主な要因といたしましては、商品が179,460千円増加、営業投資有価証券が104,473千円増加、受取手形及び売掛金が354,826千円減少した結果であります。

固定資産は、1,417,409千円(前連結会計年度末は1,472,093千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェア仮勘定が39,042千円増加、繰延税金資産が26,625千円減少、のれんが28,783千円減少、ソフトウェアが24,874千円減少した結果であります。

繰延資産は、620千円(前連結会計年度末は931千円)となりました。要因といたしましては、社債発行費が310千円減少した結果であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,282,432千円(前連結会計年度末は2,293,469千円)となりました。

流動負債は、1,762,182千円(前連結会計年度末1,716,799千円)となりました。主な要因といたしましては、短期借入金300,000千円増加、買掛金が51,848千円増加、その他(流動負債)が99,426千円減少、未払法人税等が95,465千円減少、1年内償還予定の社債が62,500千円減少した結果であります。

固定負債は、520,250千円(前連結会計年度末は576,670千円)となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が59,472千円減少した結果であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,235,093千円(前連結会計年度末は3,222,038千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が11,272千円増加した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2019年11月14日に公表した業績予想に変更はございません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,354,496	1,391,964
受取手形及び売掛金	1,011,730	656,904
営業投資有価証券	1,243,962	1,348,436
商品	134,554	314,014
仕掛品	974	2,734
貯蔵品	2,510	321
未収入金	213,232	170,909
その他	138,726	248,485
貸倒引当金	△57,704	△34,276
流動資産合計	4,042,482	4,099,495
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	57,569	55,739
工具、器具及び備品(純額)	36,396	36,081
その他(純額)	3,098	7,180
有形固定資産合計	97,064	99,001
無形固定資産		
のれん	391,289	362,505
ソフトウェア	425,008	400,134
ソフトウェア仮勘定	49,630	88,672
その他	1,442	1,382
無形固定資産合計	867,371	852,694
投資その他の資産		
長期貸付金	54,361	51,809
繰延税金資産	277,724	251,099
その他	175,571	162,804
投資その他の資産合計	507,657	465,713
固定資産合計	1,472,093	1,417,409
繰延資産		
社債発行費	931	620
繰延資産合計	931	620
資産合計	5,515,508	5,517,526

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,301	302,149
短期借入金	300,000	600,000
1年内償還予定の社債	125,000	62,500
1年内返済予定の長期借入金	398,986	359,055
未払法人税等	107,177	11,711
未払金	332,468	325,862
ポイント引当金	3,862	1,326
その他	199,003	99,576
流動負債合計	1,716,799	1,762,182
固定負債		
長期借入金	572,183	512,711
その他	4,487	7,539
固定負債合計	576,670	520,250
負債合計	2,293,469	2,282,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	861,157	861,157
資本剰余金	831,997	831,997
利益剰余金	1,727,899	1,739,171
自己株式	△203,171	△203,171
株主資本合計	3,217,883	3,229,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,385	△8,428
その他の包括利益累計額合計	△9,385	△8,428
新株予約権	7,130	7,130
非支配株主持分	6,410	7,235
純資産合計	3,222,038	3,235,093
負債純資産合計	5,515,508	5,517,526

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,654,283	1,573,243
売上原価	829,690	910,125
売上総利益	824,592	663,117
販売費及び一般管理費	550,328	600,652
営業利益	274,264	62,464
営業外収益		
受取利息	0	309
助成金収入	570	332
その他	1,354	1,080
営業外収益合計	1,925	1,722
営業外費用		
支払利息	3,147	2,065
その他	3,017	1,246
営業外費用合計	6,165	3,312
経常利益	270,024	60,874
特別損失		
賃貸借契約解約損	—	14,699
その他	—	0
特別損失合計	—	14,699
税金等調整前四半期純利益	270,024	46,175
法人税、住民税及び事業税	72,684	7,452
法人税等調整額	20,701	26,625
法人税等合計	93,385	34,077
四半期純利益	176,639	12,097
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,328	11,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,310	825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,396	△25,283
その他の包括利益合計	62,396	△25,283
四半期包括利益	239,035	△13,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,724	△14,011
非支配株主に係る四半期包括利益	1,310	825

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計				
売上高								
外部顧客への売上高	453,273	971,766	193,362	1,618,403	35,880	1,654,283	—	1,654,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,646	2,165	—	27,812	4,395	32,207	△32,207	—
計	478,920	973,932	193,362	1,646,215	40,275	1,686,490	△32,207	1,654,283
セグメント利益又は 損失(△)	136,103	74,205	163,626	373,934	△7,740	366,193	△91,929	274,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムアプリケーションの企画・開発・運用事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,929千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	486,744	1,059,983	26,515	1,573,243	—	1,573,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,227	1,627	—	30,854	△30,854	—
計	515,972	1,061,610	26,515	1,604,097	△30,854	1,573,243
セグメント利益	117,049	32,121	2,965	152,136	△89,671	62,464

(注) 1. セグメント利益の調整額△89,671千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社は当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。当社の報告セグメントは、従来、「メディア事業」「マーケットプレイス事業」「ソリューション事業」「インキュベーション事業」の4事業区分としておりましたが、当期より在庫に悩む企業の「主治医」として流通の最適化を行なう在庫価値ソリューションの提供及び流通の最適化を目的とした組織運営・経営管理体制の構築に伴いまして、報告セグメントを当第1四半期連結会計期間より、「在庫価値ソリューション事業」「商品流通プラットフォーム事業」「インキュベーション事業」の3事業区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。